

# 専念寺通信

4月号 (NO.152) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

とうとう春が来ました。雨やかみなり、強い風、など、天候の変化のはげしい弥生が終わり、新しい季節がめぐって来ました。

## ☆藤の花とこでまり

専念寺の境内に藤棚があります。毎年、4月の末から5月の初めにかけて、白い見事な花を咲かせます。今年は桜の開花も早かったのですが、藤も4月に入った早々咲きはじめました。下に立つと甘い甘い香りがします。大きな蜂がぶんぶん飛びまわっています。人間だけでなく、虫たちにとっても良い香りなのでしょう。しばらくは藤棚近くの記念碑の掃除ができないくらい、たくさんの蜂が活躍していました。下の写真は石碑の脇のこでまりです。こちらも例年より3週間くらい早く開きました。名前の通り、ちいさな毬のようなかたちに花がまるまって咲いています。可憐な花です。この横に4月下旬には紫蘭（シラン）が開きます。赤紫色の潇洒なたたずまいの花です。墓地では、枯れ木同然だった櫛



に緑の葉がつき、あれよあれよという間に4月には緑の葉のみっしりついた立派な樹木に戻りました。自然のちからの大きさを思い、小さなことでくじけそうになる自分たち人間

の弱さをかえりみる、そんな卯月です。

## ☆九条を守る

戦争の好きな人はいらっしゃいますか？武器の一部を作ったり、戦争に使用されるものの部品を作ったりする、

いわば生活の糧になるから、という理由から「好き」な人はいるでしょう。私たちの国は景気のとても良い時期が終了し、失業率が上がり、セイフティ・ネットが徐々にほころび始めてきています。けれど、私たちの国は1945年以来実に70年近く、どこの国とも戦争をせず、どこの国をも侵略せずに来ました。それは憲法九条が存在し、私たち国民がそれを守ろうとしたからです。世界で唯一の被爆国であり、その直後に戦争放棄の宣言をしたこの国は、その姿勢を貫きとおすのが良いのです。大国の大義にふりまわされてはいけません。自国の景気が悪くなると「国家の共通の敵」を声高に唱えるトップが現れることを、私たちは知っています。「悪の枢軸」という言葉は「悪」とは何かを私たちに考えさせました。復讐のために他国を攻撃し数十万単位の人を殺戮し国土を復旧不可能なまでに荒廃させることは正しいことですか。造語にふりまわされてはいけません。「殺すことなかれ、殺させることなかれ」という、仏教の教えにもとづいた、人間本来の持っている善き部分を大切に守ろうではありませんか。

気温差の大きい季節、皆さまお大切に。

平成25年4月1日 大黒

